

所在地	〒533-0013 東淀川区豊里5丁目12番41号	
電話番号	06-6329-0880	
FAX	06-6329-7083	
校長名	森元 貴子	
開校年度	昭和59年度	



◆学校からのメッセージ

本校は、創立40周年を迎えました。「よく考える子」「心豊かな子」「たくましい子」を校訓とし、学校教育目標は「自らの力でよりよい未来を創り出そうとする子どもの育成」です。今年度は、「自分と向き合い、自分で考え、自分を高めていく子どもの育成」を重点として、全教職員が一丸となって取り組んでいます。

さらに、「令和の日本型学校教育の構築」を実現するために、ICTを活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることのできる学習活動を目指しています。一人一人の子どもが、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることを願っています。

今の子どもたちが大人になる未来社会は、VUCA時代（Volatility 変動性・Uncertainty 不確実性・Complexity 複雑性・Ambiguity 曖昧性）と呼ばれる、予測困難で不透明な時代です。こういった時代を生き抜くためには、これまでのように、学校で学んだ知識を身に付けるだけではなく、自ら考え判断し行動する力が求められています。これから必要とされる、新しい時代の教育へと転換を図っていきます。

◆運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における、「自分には、よいところがあると思います」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における、国語と算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において、経年比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。
- ・校内アンケートにおける、「自分で調べたり考えたりして、学習に取り組むことができましたか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における、「読書は好きですか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。

◆令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果から

平均正答率を全国平均と比較すると国語科では9p、算数科では16p下回る結果となった。平均無回答率は、国語科・算数科ともに全国平均より3pほど高く、最後まで諦めずに問題に取り組むことができていないことが分かる。国語科・算数科ともに特に課題のある領域があるというよりは、全体的に低い正答率となっている。その中でも、国語科では、「書くこと」、算数科では「数と計算」の領域が全国平均を大きく下回る結果となっている。質問紙の回答を見ていると、学習に対して苦手意識が強く、家庭学習にも積極的に取り組むことができていない。「算数の勉強が好きだ」という項目の数値が極端に低く、また、新聞を読んだり、読書をしたりする習慣も全国平均と比較すると、大幅に低い結果となっている。

質問紙調査では、「家で自分で計画を立てて学習しているか」という項目について、肯定的に回答する児童が全国平均の半分程度にとどまっており、学習に対して主体的・意欲的に取り組めていないことが調査結果に結びついていると考えられる。また、ICTの活用や探究的な学びに対しても数値が低く、学習の内容というよりは学び方に課題があると思われる。

そこで、全体的な学力を向上するために、基礎的基本的内容は、個別指導によって確実な定着を図り、さらに、これらが必要とされる学力として、個別最適な学びと協働的な学びを一体として扱いながら、充実させていく。その際、ICTの活用は必須であり、一人一台の学習者用端末の活用を進めて学力向上に取り組んでいく。

平均正答率（％）

	国語	算数
学校	58	46

【P.21に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

◆令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果から

男子については50m走とソフトボール投げ、女子については握力と50m走は、大阪市・全国平均を上回っているが、それ以外の種目や体力合計点についてはすべて大阪市・全国平均を下回っている。男女とも、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳びの4種目については、大阪市・全国平均を大きく下回っている。結果の数値だけを見ていると、男女であまり差はないように思えるが、質問紙の結果を見ると、運動に対する意識には大きな差がある。例えば、運動やスポーツをするのが好きな児童の割合は、男子が95%近いのに対して、女子は80%にとどまっていたり、普段の生活において1週間の総運動時間が60分に満たない児童が、男子は全体の5.6%なのに対して、女子は30%と、明らかに男子よりも女子のほうが、運動に対する意識も習慣も低いことが分かる。

本校では普段から毎日たくさんの児童が休み時間には元気に外で遊んでいる。かけ足習慣や縄跳び習慣、大縄の記録会など、休み時間なども使いながら記録を伸ばすために練習をしている様子もあり、概ね運動やスポーツに親しんでいるように思われる。しかし一方で、基本的な生活習慣が確立されておらず、体を動かすことを億劫に感じている児童がいるのも現状である。週末などに地域のスポーツクラブなどで運動をしている児童にも偏りがあり、運動習慣にはかなりの個人差があるため、まずはしっかりと基本的な生活習慣を身につけるようにすることが重要である。また、トップアスリート等の外部講師を招聘して、運動することの楽しさを実際に体感したり、将来の目標や夢につなげて前向きに考えたりすることができるような活動も取り入れていく必要がある。

種目別平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子	14.33	17.20	29.69	33.61	40.31	9.16	134.44	21.25	47.45
女子	16.13	17.19	32.90	29.32	27.81	9.61	128.54	12.69	49.33

【P.21に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

◆学校行事の内容

- 【1学期】入学式（4月） 避難訓練（4月） 春の遠足（5月） 引き渡し訓練（5月） プール開き（6月） ミナクルパーティー（6月） 5年自然体験学習（6月）
- 【2学期】避難訓練（9月） たてわり班遠足（10月） 運動会（11月） 6年修学旅行（11月） 作品展（11月）
- 【3学期】6年卒業遠足（1月） 避難訓練（1月） 研究発表会（2月） 学習発表会（2月） 卒業生を送る会（3月） 卒業式（3月）



◆豊里南小学校の教育活動

自分と向き合い 自分で考え 自分を高めていく 子どもの育成

自立 と 協働

探究的な学びにおける「自立した学習者」の育成を目指して研究活動を進めています。



GIGAスクール構想や「令和の日本型学校教育」を見据え、ICT活用による「個別最適な学び」の実現を目指します。



1年生からのプログラミング学習

高学年になると、文房具のようにICTを活用します。

一人一人の子どものキャリア形成にかかわるものとして「体験的な活動」を重視し、取り入れています。



トップアスリートによる様々なスポーツ体験や、漫オワークショップにミルクのお話など

「わかった・できた」と実感できる全員参加の授業を目指して、日々授業改善に取り組んでいます。

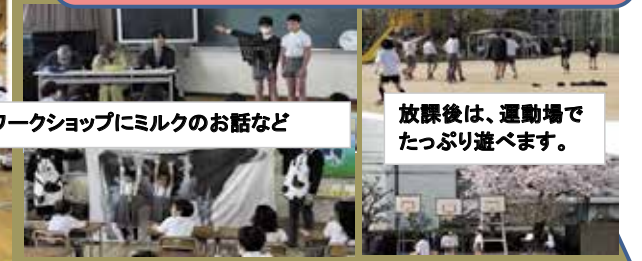


3年生以上の算数科はすべての単元で習熟度別少人数授業を行っており、学習内容の確実な定着を図っています。

「子どもたちの主体性」を引き出すことのできる学校行事や、児童会活動を推進しています。



放課後の時間をゆったりと確保し、個別学習や放課後遊びで、子どもの安心・安全な居場所づくりをします。



放課後は、運動場でたっぷり遊べます。

すべての子どもたちが 居心地の良さを感じ 安心して楽しく学べる学校

※豊里南小学校は適正配置対象校となっておりますが、ただちに具体化するものではありません。詳しくは、東淀川区役所ホームページ「東淀川区における学校配置の適正化の取り組み」でご確認ください。

